

令和3年度 学校評価報告書（目標設定）

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|---------------------|---|--|--|--|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>①生徒の課題発見能力や問題解決能力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるため組織的かつ持続的な授業改善に取り組むとともに、専門性の向上を図る教育に重点を置いた教育課程の編成をめざす。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p> | <p>①ICT利活用を主題とした組織的な授業改善を継続して進め、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、専門性の向上を図る教育に重点をおいた教育課程を編成する。</p> <p>②生徒の主体的・積極的な学校行事への参加を支援する。</p> | <p>①日常的な授業見学、年2回の研究授業を行い、ICTの効果的な活用による授業改善を進める。また、新教育課程の編成および実施に向けカリキュラム検討委員会にて確認を行う。</p> <p>②生徒を中心とした体育祭、文化祭、球技大会等の学校行事を運営し、生徒の活動を支援する。</p> | <p>①年2回の研究授業・公開授業を行うことができたか。またICT利活用による授業を実施し、授業評価の分析や教科ごとの研究協議が行えたか。また、専門学科の特性に則した教育課程を編成することができたか。</p> <p>②学校行事に係る生徒アンケートで肯定的意見を得る等、生徒が満足する学校行事を行うことができたか。</p> |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <p>①安心・安全な学校生活を送るための支援体制、指導体制を確立し、豊かな人間性や社会性を備えた人材を育成する。</p> <p>②専門学科の特性に由来する部活動を含め、教育活動における部活動の取組を支援する。</p> | <p>①生徒の様々な状況に応じた組織的な支援と生活指導を行い、社会人としてのルール・マナーの定着を図る。</p> <p>②生徒の学校生活の充実を図るため、生徒の自発的な部活動の取組を支援する。</p> | <p>①生徒の状況に応じ組織的な支援を行うとともに、身だしなみ指導と交通安全教育の充実を図る。</p> <p>②生徒の部活動加入率を維持する、かつ加入率の向上を図る。</p> | <p>①生徒の情報を共有し円滑な支援ができたか。また、身だしなみや交通安全のルール・マナーを徹底できたか。</p> <p>②生徒の部活動加入率が維持できたか、かつ加入率の向上が図られたか。</p> |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|---|--|--|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 3 | 進路指導・支援 | 夢と活力ある産業人材の育成に向けて、専門高等学校の特性を生かし基礎的な知識や技能を体得して、社会的・職業的に自立する人物の育成を図る。 | ①農商併置校としての特性を生かし、インターンシップや農業体験を通じ知識や技能の体得、進路への活用を目指す。 ②学年毎に適したガイダンスを実施し、進学や就職に見合う基礎学力やマナーの定着を図る。 | ①本校の特性や生徒のキャリアデザインに即した、インターンシップや農業体験を周知し参加を促す。 ②ガイダンスや出前授業等を多様な分野で実施し、生徒の視野の拡張と進路への意識を向上させる。 | ①就職希望者はインターンシップに参加することができたか。また、農業体験参加生徒にとって、進路選択に有効であったか。 ②進路への意識向上により、進路室の利用が活性化したか。生徒の挨拶やマナーの意識は向上したか。 |
| 4 | 地域等との協働 | ①地域に根ざした様々な産業との連携を重視した教育に取り組むとともに、産業社会に役立ち産業社会の発展に寄与する人材を育む。 ②地域に信頼される学校づくりを推進する。 | ①学科や校内外の枠を超えた連携により、専門性を高め、実践的な教育を推進する。 ②学校説明会、体験入学、学校ホームページを活用して、本校の魅力を発信する。 | ①直売所や各種連携事業の新規立ち上げに向けた校内・校外の連携を強化し、環境整備を行う。 ②本校の魅力を発信できる説明会、体験入学等の充実をもとに、学校ホームページを活用して情報を発信する。 | ①直売所や連携事業の新規立ち上げを行えたか。 ②アンケートにより、本校の魅力について、「わかった」と答える人が半分以上いたか。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①教員の働き方改革を推進するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図るとともに、一層の事故防止に努める。 ②教育環境の整備や学校防災の取組により、生徒・保護者・地域との信頼関係を構築する。 | ①教員の働き方改革推進の観点から、各種視聴覚・情報関連の設備や機器の整備、管理、利用法の徹底を図る。 ②防災備蓄品の整備や災害発生時に対応した防災教育を図ることと同時に、教育環境の整備等を行う。 | ①設置・配備された各種視聴覚機材や情報機器の管理や利用の方法を周知することで、教員の働き方改革を推進する。 ②防災備蓄品の整備を行い職員と情報を共有する。防災訓練等を計画実施し、校内美化にも努める。 | ①Wi-Fi関連機器の管理を、管理簿等を利用して行えたか。また、その利用法を周知するための研修を実施できたか。 ②防災備蓄品の整備・情報共有が進められたか。計画的な防災訓練を行うことが出来たか。また、校内美化が進められたか。 |